

静岡県熱海市における
令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣について令和3年7月14日
防衛省

概要	○ 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日1230、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。 ○ 7月14日現在、自衛隊は、<u>約910名の態勢</u>をもって、被災現場に<u>約400名</u>、重機14両及びドローン3機を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動等を実施。
活動実績	人命救助活動等【7月3日～13日】 ○ 被災現場における活動人員等：<u>延べ約4,600名</u> ○ 活動部隊：陸上自衛隊第34普通科連隊(板妻)、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊(朝霞)、第1戦車大隊(駒門)、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等 ○ 使用装備：重機14両、ヘリ（UH-1）2機、全天候型ドローン7機(最大時)、災害救助犬5頭(最大時)等 ○ 救助実績：<u>10名</u>（うち6名について警察により死亡を確認） ○ 道路啓開：国道135号線及び活動地域付近の道路上に堆積した土砂等を除去し、<u>計約380m</u>を啓開
本日（14日）の活動	引き続き、以下の活動等を実施 1 人命救助活動 ○ 0600以降、<u>陸上自衛隊第34普通科連隊（板妻）、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊（朝霞）、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等の人員約340名</u>により、重機14両（掩体掘削機×2、油圧ショベル×2、バケットローダ×1、小型ドーザ×9）を用いた人命救助活動等を実施。 2 情報収集等 ○ <u>全天候型ドローン3機</u>により、被災現場の情報収集及び映像伝送を実施。 3 連絡員の派遣 静岡県庁に5名、熱海市役所に5名、伊豆山現地本部に5名の連絡員を派遣。

活動状況（熱海市）



搜索活動(第32普通科連隊)



搜索活動(第34普通科連隊)



道路啓開活動(第32普通科連隊)



道路啓開活動に係る調整を行う隊員(第1施設大隊)